

## 郷土資料センターの便利な機能

### 閲覧・貸出

館外への貸し出しができるのは約3万冊。資料を借りる際は、センターの利用カードが必要です(ミライオン図書館の利用カードも使えます)。



### 集会・研修室

最大156名収容可能。講演会や研修会など幅広い用途で利用できます。※事前予約が必要(有料)



### ミライオンサテライト

ミライオン図書館の資料の貸出・返却が可能です。ウェブサイトかカウンターで資料を予約し、後日センターで受け取ることができます。

郷土資料センターの資料をミライオン図書館に取り寄せて借りることもできるばい!



### 長崎県公文書コーナー

歴史的・文化的価値を有すると認められる県の公文書のうち、業務で使用しなくなった文書(歴史的な文書)や行政資料を閲覧することができます。

- 利用時間/10時~18時
- ※日曜・祝日、センター休館日をのぞく

## TOPICS 長崎ゆかりの文学・特徴ある近現代資料

本県出身の作家の原稿や長崎が舞台となった小説の原稿のほか、明治期末に設立された雲仙公園事務所の旧蔵資料なども所蔵しています。



諫早で活動した作家・野呂邦暢が執筆した『草のつぎ』。芥川賞受賞作品で、自らの自衛隊体験を基にしたといわれています。



島原鉄道の創設者・植木元太郎。島原鉄道第一号機関車や多良駅開業の写真などの資料を数多く所蔵しています。

## ミライオン図書館

NAGASAKI PREF. & OMURA CITY LIBRARY

- ◆場所/大村市東本町481
- ◆電話番号/0957-48-7700
- ◆開館時間/火~金曜 10時~20時  
土・日曜、祝日 10時~18時
- ◆休館日/郷土資料センターと同じ
- ◆駐車場/205台 無料 ※手続きが必要
- ◆交通アクセス/JR大村駅から徒歩3分  
本場スマートICから車で6分



## 特集 1

special issue

# 県立長崎図書館郷土資料センター オープン!

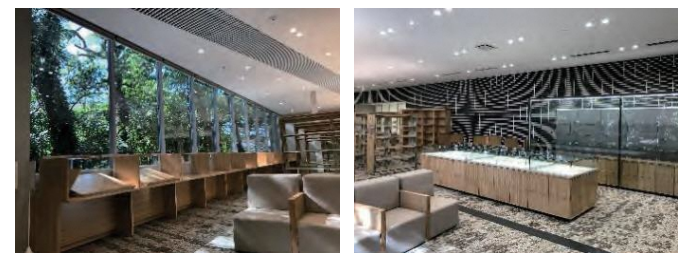
3月27日、旧県立長崎図書館跡地に「県立長崎図書館郷土資料センター」が開館します。今回は、長崎県に関連のある資料を多く所蔵する郷土資料センターについて、ご紹介します。



## 郷土資料センターとは

長崎県立図書館は令和元年10月にミライオン図書館として大村市に移転しました。一方、長崎市に開館する郷土資料センターでは、県立図書館の機能のうち、本県に関する郷土資料の収集・保存・提供を行い、本県に関する資料や県内で発行された新聞・雑誌、長崎ゆかりの文学など約19万冊を所蔵しています。

センターでは、木のぬくもりを感じられる落ち着いた空間でゆっくりと本を楽しむことができるほか、自動で机の高さを調節できる閲覧席やソファ席などもあり、どなたでも快適に利用できます。



- 場所/長崎市立山1-1-51
- 電話番号/095-826-5257
- 開館時間/10時~18時
- 休館日/毎週月曜(祝日の場合はその翌日以降の平日)、12月28日~1月5日
- 駐車場/20台  
最大3時間まで無料 ※手続きが必要
- 交通アクセス/  
JR長崎駅から徒歩12分  
「桜町公園前」バス停から徒歩5分  
「桜町」電停から徒歩7分  
ながさき出島道路出入口から車で5分

